



成果指標				
成果指標	住民自治能力の向上			
指標設定の考え方	公民館が核となって事業や活動を展開しながらコーディネート役として、住民や組織が主役の活動を展開する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	35	35	0	0
実績	30	25	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	住民自らの学習意欲の醸成、25年未実施の家庭教育学級の実施			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	多様化する生涯学習などの住民ニーズや地方分権と少子高齢社会に対応した現代社会の課題や社会要請を的確に捉えた公民館活動を展開する。特色ある地域の伝統・文化を支援するなど社会教育の充実を図ることを通じて地域の教育力の向上と潤いのあるふるさとづくりを推進する。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	